記者発表資料

平成２２年１２月２１日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第３回定例会議（１２月１日）の審議概要について

～抽出案件７件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２２年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第３回定例会議が１２月１日（水）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、①工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等・物品の製造等の発注案件、②指名停止措置の運用状況、③談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案の報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件７件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　加藤（かとう） 治儀（はるよし）（内線６２２１）

経理調達課課長補佐　本間（ほんま） 和彦（かずひこ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所		平成２２年１２月　１日（水）東北地方整備局会議室
委員		部会長　三輪　佳久　（弁護士） 部会長代理　真野　明　（東北大学大学院工学研究科教授） 委員　貝山　道博　（山形大学人文学部教授）
審議対象期間		平成２２年　７月　１日～平成２２年　９月３０日
総抽出案件		総件数　７件
工事	抽出案件	件数　４件
	一般競争（WTO対象）	１件
	一般競争（WTO対象外）	３件
	工事希望型競争	０件
	通常指名競争（港湾土木）	０件
	通常指名競争（空港等土木）	０件
	通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	０件
	随意契約	０件
建設コンサルタント業務等		２件
役務の提供等及び物品の製造等		１件

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし

抽　出　案　件　工　事　概　要　書

	工　事　名	入札・契約方式	工事場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
1	八戸港河原木地区泊地（－１４ｍ）外浚渫工事	一般競争 （ＷＴＯ対象）	八戸市八戸港港内	645,540 １回目落札	4者	4者
2	秋田港外港地区泊地（－１３ｍ）（消波）築造工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	秋田市秋田港港内	224,490 １回目落札	9者	9者
3	小名浜港東港地区岸壁（－１４ｍ）裏込外工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	いわき市小名浜港港内	231,525 １回目落札	9者	9者
4	小名浜港東港地区防波堤（第二沖）本体工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	いわき市小名浜字高山地先　ほか	178,500 １回目落札	8者	8者

抽出案件建設コンサルタント等概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
5	仙台塩釜港高機能岸壁免震構造検討業務	簡易公募型プロポーザル	－	120,750 －	3者	1者
6	仙台塩釜港仙台港区コンテナ貨物の需要推計及び整備効果検討業務	簡易公募型プロポーザル	－	9,975 －	7者	1者

抽　出　案　件　役　務　及　び　物　品　概　要　書

	業　務　名	入札・契約方式	納入場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
7	八戸港ソフトウェア購入	一般競争	八戸港湾・空港整備事務所	1,465 １回目落札	3者	3者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・特になし	
2-1	審　　議 一般競争 「八戸港河原木地区泊地（－１４m）外浚渫工事」 ・参加可能者がＪＶ構成員で１９者いるが、４者のみの参加となった理由は何が考えられるか。	・浚渫船の手配が出来ないため、入札参加を見送った等の理由が考えられる。
2-2	審　　議 一般競争 「秋田港外港地区泊地（－１３m)(消波）築造工事」 ・他の案件に比べ各者の入札金額に差があり、落札者だけ入札額が低くなっている理由は何が考えられるか。 ・入札者のうち１者が無効となっている理由は何か。	・スリット式の大型のＬ型ブロックの据付工事は初めてであり、起重機船等の積算の考え方で差が出たものと考えられる。 ・開札から落札決定までの間に、配置予定技術者の配置が出来なくなったため、入札参加の「取下届」が提出されたことから無効とした。
2-3	審　　議 一般競争 「小名浜港東港地区岸壁（－１４m）裏込外工事」 ・調査基準価格はかなり正確に推測できるものなのか。	・過去にも同様の工事を発注した実績があり、その予定価格や積算内訳が公表されており、また、調査基準価格の算定式も公表されていることから、精度の高い積算が可能であり、調査基準価格について正確に推測することが出来たのではないかと考えられる。
2-4	審　　議 一般競争 「小名浜港東港地区防波堤（第二沖）本体工事」 ・各社の加算点は、工事ごとに異なる点数となり得るのか。 ・評価値が同点の場合は、どうやって落札者を決めるのか。	・工事ごとに技術提案を求める項目を変えていること、施工体制評価においては手持ち工事量等も評価していることから、各社の加算点は工事ごとに異なることとなる。 ・くじ引きで決定している。

別　　紙

	意見・質問	回　　答
2-5	審　　議 簡易公募型プロポーザル方式 「仙台塩釜港高機能岸壁免震構造検討業務」 ・参加表明書を提出した３者の中に財団法人は入っていたのか。	・入っていない。
2-6	審　　議 簡易公募型プロポーザル方式 「仙台塩釜港仙台港区コンテナ貨物の需要推計及び整備効果検討業務」 ・簡易公募型プロポーザル方式の場合、業務説明書の交付者は多いものの、参加表明書の提出が１者のみの事例も多かったが、本件に関しては多くの者が参加表明しており、競争性の確保の観点から改善がみられる。整備局として何か対応を行っているのか。	・個別の業務に関して、働きかけ等は特に行っていないが、業界団体に対しては、機会があるごとに出来るだけ積極的に参加するよう話をしている。
2-7	審　　議 一般競争 「八戸港ソフトウェア購入」 ・入札に参加した３者は地元の業者か。 ・１者の入札額が他社に比べてかなり高いが、予定価格はどのように算定したのか。	・３者とも地元業者である。 ・参考見積を数社から徴取し、予定価格を算定している。

・所見

意見の具申又は勧告事項は無い。本日の所見として、簡易公募型プロポーザル方式の発注については、競争性の確保について改善がみられるので、今後も引き続き工夫されたい。